

大項目		中項目	小項目	回答
1	周術期部門システムORSYS		当院、既設周術期部門システムORSYS（以下ORSYS）について下記の仕様を満たすこと	
1		1 システムの基本構成	システムの基本構成は、下記の仕様を満たすこと	
1		1	1 サーバーは、病院指定の仮想環境に構築すること	
1		2 麻酔記録クライアント	麻酔記録クライアントについては下記の仕様を満たすこと	
1		2	1 ディスプレイは19インチ以上のカラー液晶ディスプレイ（解像度：1280×1024以上）を6式（うち予備機1式）用意すること	
1		3 ステータスマニタ用クライアント	ステータスマニタ用クライアントについては下記の仕様を満たすこと	
1		3	1 PC本体はデスクトップ型であること	
1		3	2 ステータスマニタ用クライアントを2式（うち予備機1式）を用意すること	
1		4 ステータスマニタ用ディスプレイ	ステータスマニタ用ディスプレイについては下記の仕様を満たすこと	
1		4	1 ステータスマニタ用ディスプレイ(42インチ以上)を1式用意すること ※既存流用可	
1		5 電子カルテとの連携	電子カルテとの連携については下記の仕様を満たすこと	
1		5	1 当院指定場所での病院情報システム端末に相乗りできること	
1		5	2 特別なアプリケーションをインストールすることなく、病院情報システムのWEBブラウザを使って麻酔記録、看護記録が参照ができること	
1		5	3 麻酔記録は一面面に表示する時間幅をWEBブラウザ画面上で変更できること	
1		5	4 病院情報システムでWEBブラウザを起動する場合は、電子カルテ上で開いている患者のIDに紐づいて起動できること	
1		5	5 術前/術後診察については病棟の病院情報システム端末のWEBブラウザから入力できること	
1		5	6 病院情報システムから利用者マスタ、薬剤マスタなどを有すること	
1		5	7 病院情報システムから、以下の手術・麻酔申し込み情報を受信できること。 診療科名、患者氏名、患者ID、年齢、生年月日、性別、身長、体重、病名、入力者、術者、助手、手術予定日、予定術式、予定手術時間、血液型、感染症、術前合併症と治療経過など	
1		5	8 確定した手術スケジュールを病院情報システムへ送信できること	
1		5	9 病院情報システムから中央検体検査結果内容を受信できること	
1		5	10 病院情報システムへ麻酔/手術時間、使用薬剤、スタッフの情報を送信できること	
1		5	11 病院情報システムから確定術式等の情報を受信できること	
1		6 データ移行	既存システムデータの移行については下記の仕様を満たすこと	
1		6	1 既存システムのデータ移行の範囲は、患者一覧（台帳）、手術スケジュール、麻酔記録（術前回診、術後回診記録含む）、看護記録（術前訪問、術後訪問記録含む）とする	
1		6	2 既存システムの麻酔記録、看護記録のデータは、次期システムにおいても、電子カルテシステムから参照可能であること	
1		6	3 既存システムの麻酔記録（術前回診、術後回診記録含む）、看護記録（術前訪問、術後訪問記録含む）のデータは、次期システムにおいても、別途記載の検索機能の検索対象になるようデータ移行すること。また、検索結果でリストに絞り込まれた患者一覧から、麻酔記録、看護記録、術前回診記録、術後回診記録、術前訪問記録、術後訪問記録の呼び出しに対応できること	
1		6	4 生体モニタのデータを1分単位のデータとして保持すること	
1		6	5 既存システムからのデータ移行において必要となる費用は落札者の負担とすること	
1		7 生体情報モニタとの連携	当院、手術室の各生体情報モニタとの連携について下記の仕様を満たすこと	
1		7	1 当院、手術室の各生体情報モニタからのバイタルデータを取得すること	
1		7	2 手術システムメーカー以外の生体情報モニタとの連携も可能であること	